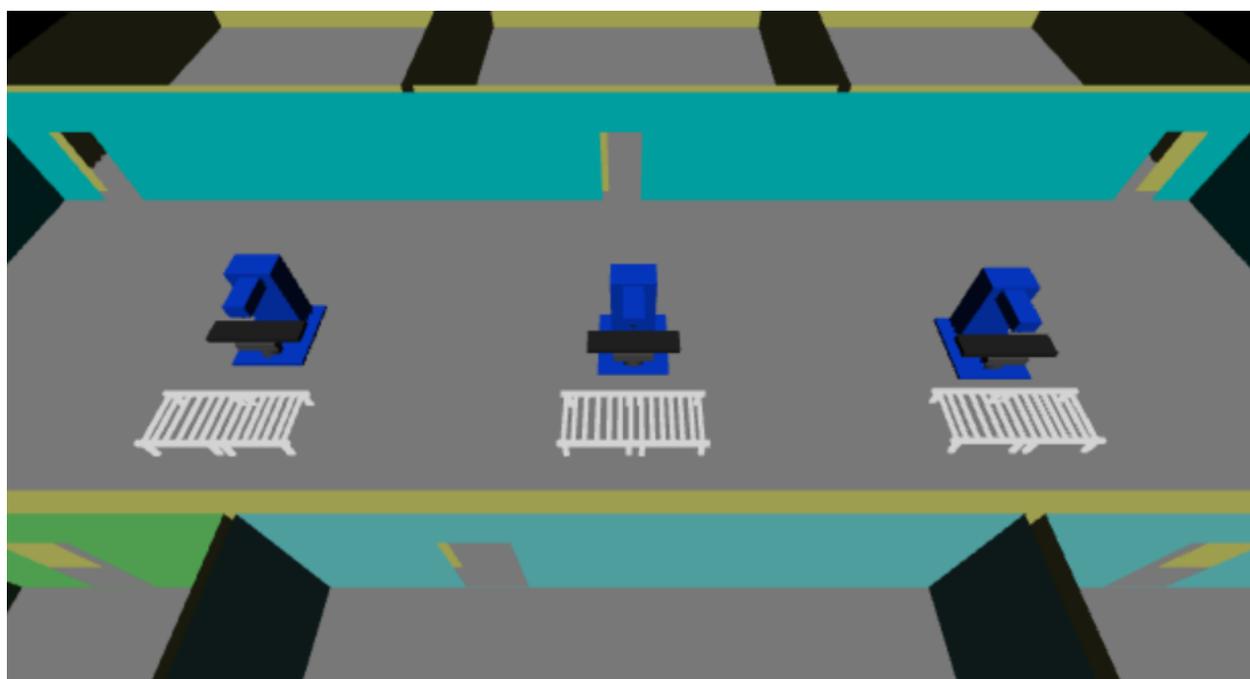


デバイスレイアウト Web 版

かんたん操作マニュアル



Realinite Co., Ltd

2019/9/30 版

Contents

1	はじめに	3
2	ユーザー登録	5
3	部屋の作成	7
4	デバイスの追加	15
4.1	フリーボックスの追加	15
4.2	デバイスタブを使用した新規デバイスの追加	23
4.3	無料ユーザーでのファイル保存	25
5	お問い合わせ	27

第1章 - はじめに

1 はじめに

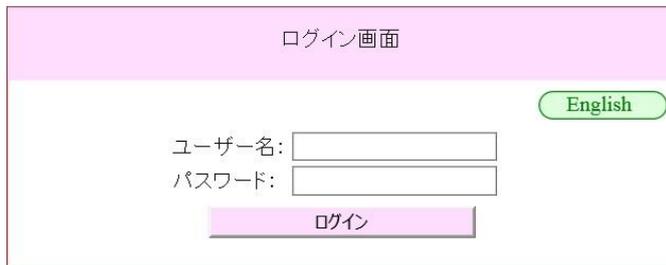
このマニュアルは、無料機能を試すために必要な、最低限の機能をわかりやすくまとめたものです。ユーザー登録から始まり、ごく基本的な機能について、その操作方法を説明しています。

第2章 ユーザー登録

2 ユーザー登録

ログインページには、新たにユーザー登録を行うためのリンクがあります。

(1)[ユーザー新規登録]と書かれたリンクを選択します。



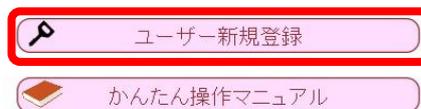
ログイン画面

English

ユーザー名:

パスワード:

ログイン



(2)[ユーザー登録]ページが開きます。



ユーザー登録

ユーザー種類: ユーザー種類について

基本情報:

ユーザー名:

パスワード:

メールアドレス:

ユーザー名は、まずはご希望のものを自由に指定してください
登録済みであった場合は、後ほどエラーが通知されます

メールアドレスは正確に入力してください
誤りがあると、重要な通知が届かず、ご迷惑をおかけする場合があります

登録 元に戻る

[個人情報収集に関する説明はこちら](#)

基本情報を設定したのち、<登録>ボタンを押してください。

ユーザー名がすでに登録済みの場合はエラーとなります。ユーザー登録画面に戻り、別のユーザー名を指定して登録を行ってみてください。

メールアドレスは、システムメンテナンスなどの大切なお知らせをお送りするためにお預かりしています。

第 3 章 部屋の作成

3 部屋の作成

登録したユーザーでのログインから開始します。

(1) ユーザー名とパスワードを入力し、<ログイン>ボタンを押します。



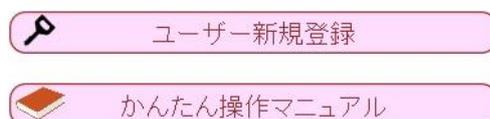
ログイン画面

English

ユーザー名 test

パスワード: ●●●●

ログイン



(2) [開始画面]が開きます。



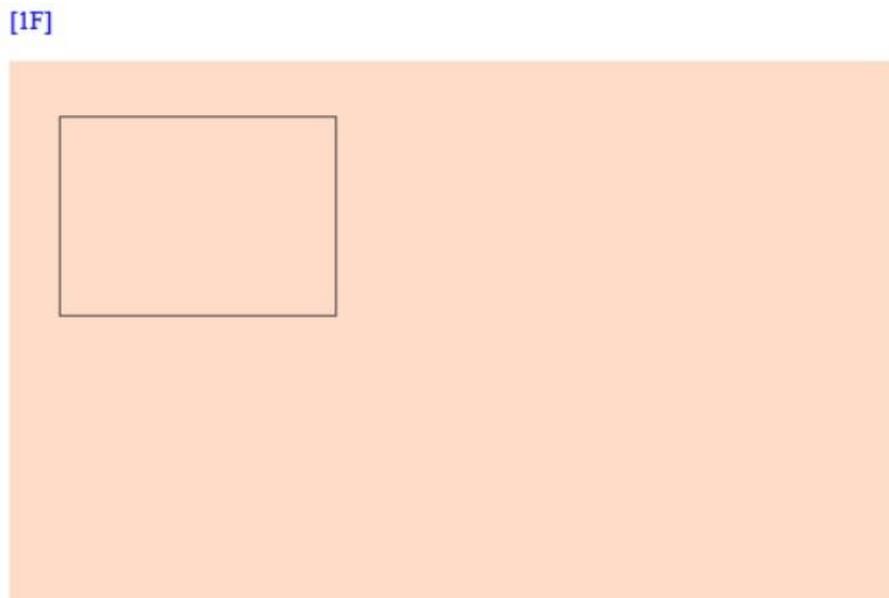
[利用終了の際は必ずログアウトしてください]

(3) [部屋配置編集]ボタンを押します。

部屋レイアウトが起動します。1Fの床面が表示されますが、部屋は一つもありません。



- (4) 床面上で左クリックしたのち、マウスポインタを右下へ移動します。
部屋作成中となり、マウスポインタの位置に応じて、四角形が表示されます。



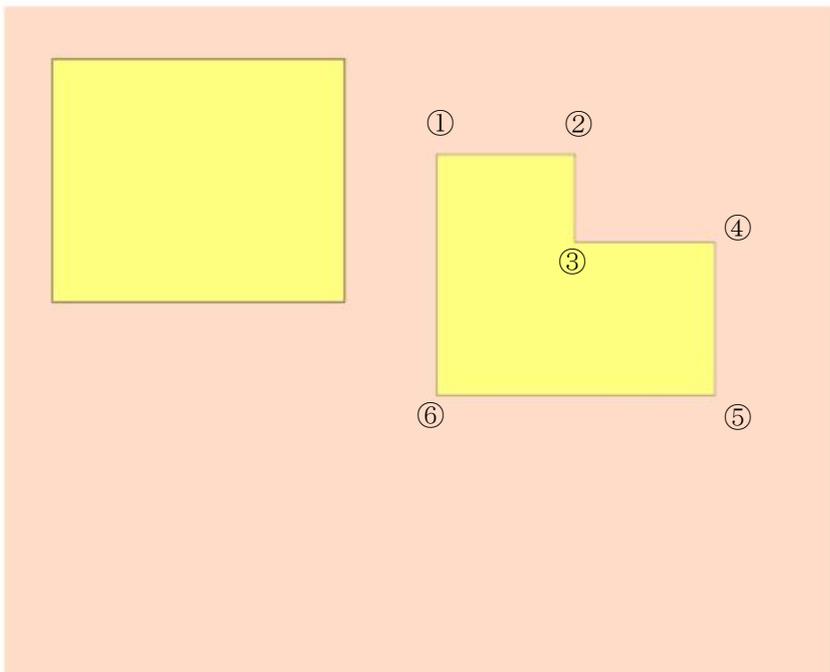
- (5) 好みの位置で左ダブルクリックします。
左クリックした位置を左上に、左ダブルクリックした位置を右下とする新しい部屋が作成されます。

[1F]



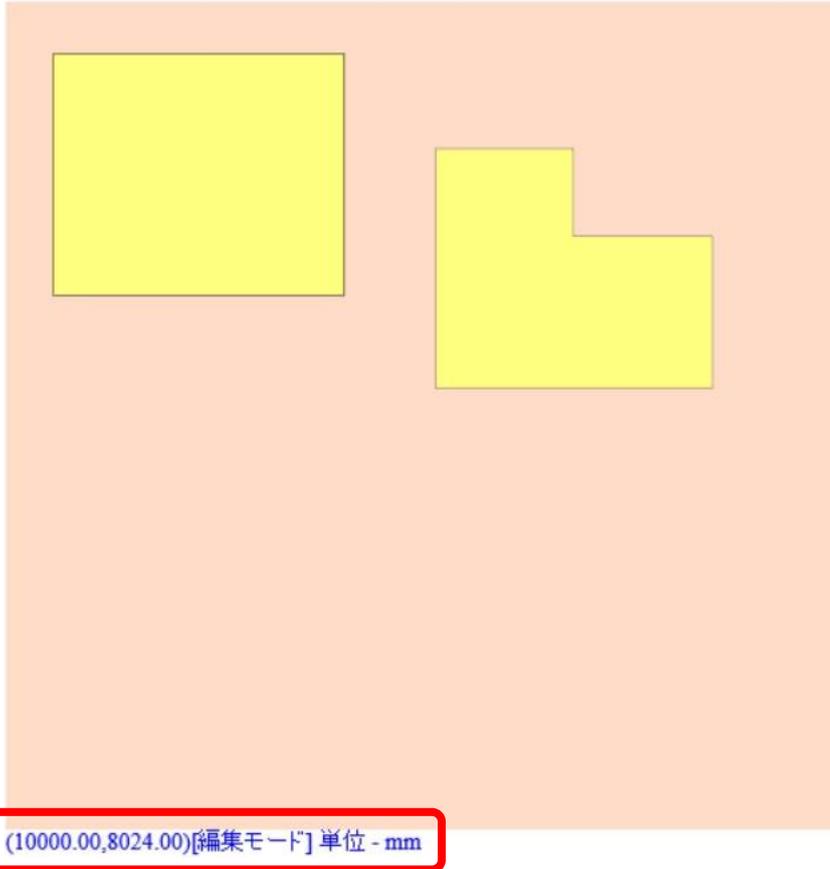
- (6) **Shift** キーを押しながら、左クリックを繰り返し、最後の頂点で左ダブルクリックを行うことで、新しい多角形の部屋を追加します。
部屋を作成する際は、時計回りに頂点を指定してください。

[1F]

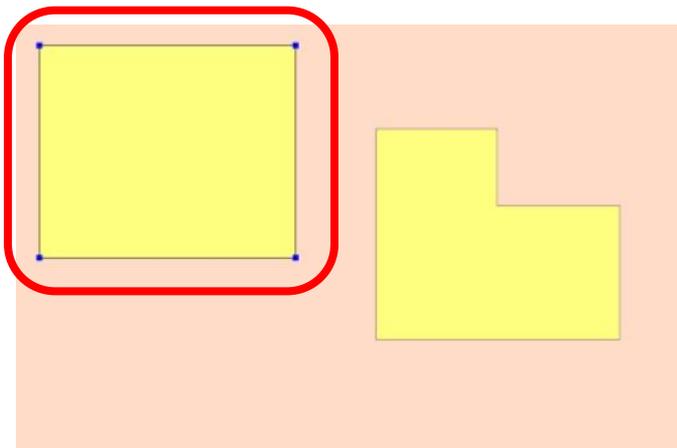


- (7) 追加済みの部屋に対して、その位置を変更したり、削除したりする場合、まずは **Space** キーを一回押して、編集モードに移行します。
現在のモードは、部屋レイアウトの最下部に表示されています。

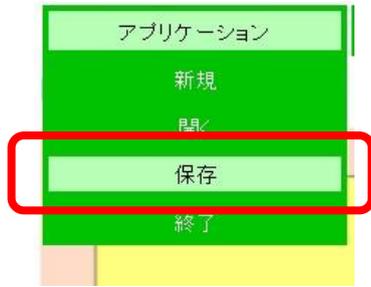
[1F]



- (8) 編集モードにいる状態で、部屋の上を左クリックすると、部屋が選択中となり、頂点が青くハイライトします。



- (9) この状態で左ドラッグを行えば、部屋の移動が行えますし、Delete キーを押せば、部屋の削除が行えます。
- (10) 部屋の追加が完了したら、メインメニューの[アプリケーション]-[保存]を選びます。



(11) [ファイル名称指定]ページで、新しいファイル名を指定したのち、<名前を付けて保存>ボタンを押します。

ファイル名称指定

元に戻る

現在のファイル名:

新しいファイル名: .mmw 名前を付けて保存

上書き保存

フォルダーの内容:

test1.mmw	選択
test2.mmw	選択
test3.mmw	選択

説明:

- 元に戻る - ファイル保存処理をキャンセルします
- 上書き保存 - 現在のファイル名のまま保存します
- 名前を付けて保存 - 指定したファイル名で保存します

(12) [ファイルの保存]ページが開き、保存結果が通知されます。

ファイルの保存

ファイル保存が完了しました

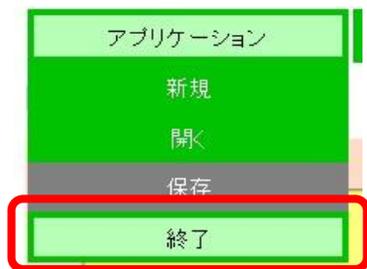
レイアウトへ戻る

(13) <レイアウトへ戻る>ボタンを押します。

部屋レイアウトへ戻ります。

(14) メインメニューの[アプリケーション]-[終了]を選びます。

部屋作成が完了します。



第4章 デバイスの追加

4 デバイスの追加

4.1 フリーボックスの追加

作成した部屋配置ファイルを使用し、デバイスをいくつか追加してみましょう。まずはフリーボックスの追加方法について説明します。

フリーボックスは、ユーザーが自由に大きさと色を変更できる直方体です。ベッド、机、冷蔵庫など、さまざまな家具類の代わりとして使用できます。

(1) 開始画面の<デバイス配置編集>ボタンを押します。



[利用終了の際は必ずログアウトしてください]

[ファイルの選択]ページが開きます。



(2) 部屋配置ファイルの<選択>ボタンを押すと、画面右側に、部屋配置ファイルの一覧が表示されます。

ファイルの選択

部屋配置ファイル <input type="button" value="選択"/>	test1.rmw <input type="button" value="選択"/>
<input type="text"/>	test2.rmw <input type="button" value="選択"/>
デバイス配置ファイル <input type="button" value="選択"/>	test3.rmw <input type="button" value="選択"/>
<input type="text"/>	

部屋ファイルは必ず指定してください

(3) 選択したいファイルの右側にある<選択>ボタンを押します。
部屋配置ファイルの欄に、選択したファイルの名称が追加されます。

ファイルの選択

部屋配置ファイル <input type="button" value="選択"/>
test1.rmw <input type="text"/>

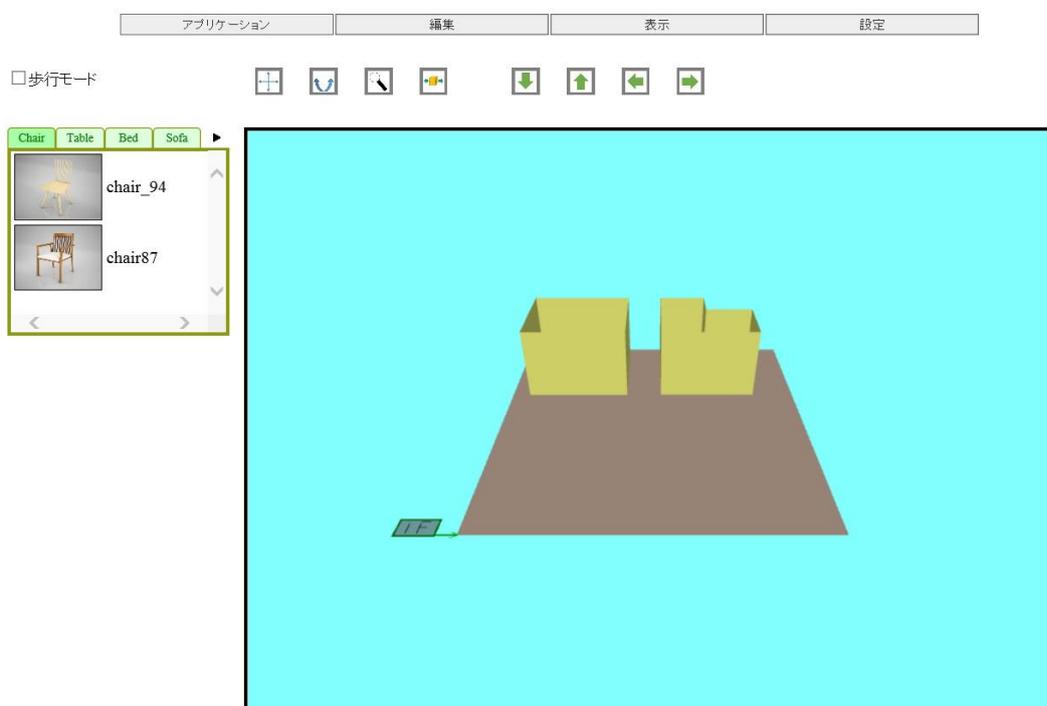
デバイス配置ファイル <input type="button" value="選択"/>
<input type="text"/>

部屋ファイルは必ず指定してください

(4) <3Dで開く>ボタンを押します。
ステータス文字列が表示されるので、そのまましばらくお待ちください。デバイスレイアウトが表示さ

れます。

Initializing Class->Start
Initializing Class->Finish
Loading Device Geometry->Start
Loading Device Geometry->Finish
Loading Building Data->Start
Loading Building Data->Finish
Loading Room Info->Start



- (5) キーボードおよびマウス操作による視点変更を行います。
中マウスドラッグを行うと、カメラ位置が上下左右に変更します。
上下矢印キーを押すと、カメラ位置が前後に移動します。
テンキーを使用すると、カメラの方向が変化します。8および2で上下方向、4および6で左右方向となります。
- (6) アイコンによる視点変更を行います。
デバイスレイアウト上部には、視点変更に使できるアイコンが準備されています。



カメラ位置を上下左右に移動します。



カメラ方向を左右に変更します。

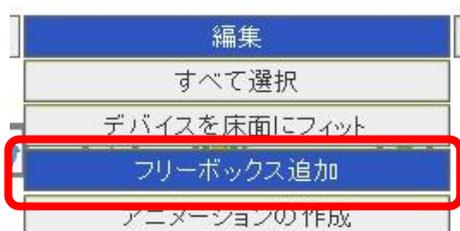


カメラ位置を前後に移動します。

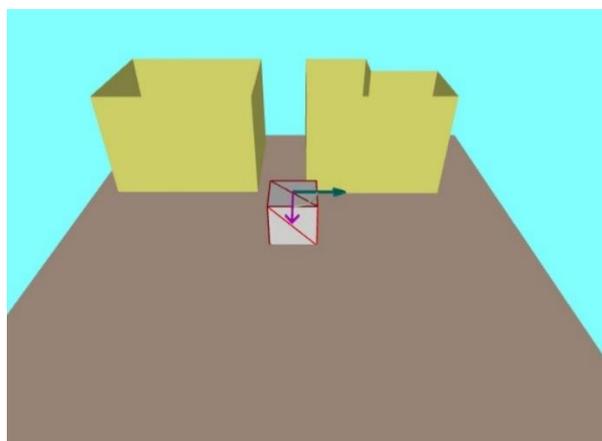


アイコン選択後、その操作を行う方向を指定します。
左マウスドラッグにより、操作を行うこともできます。

- (7) メインメニューの[編集]-[フリーボックス追加]を選びます。
フロアの中心位置に、デフォルトの大きさおよび色で、新しいフリーボックスが追加されます。

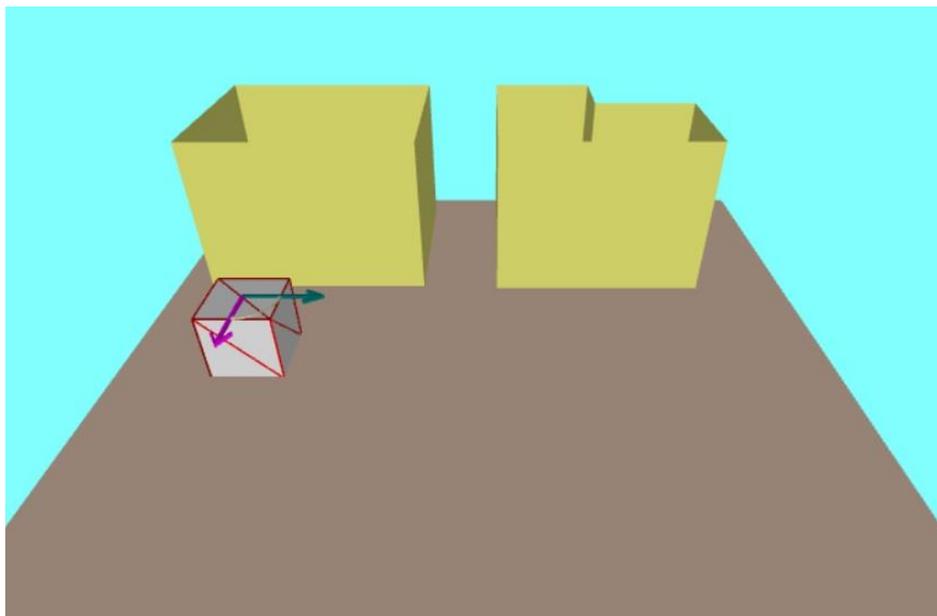


- (8) 追加されたフリーボックスの上で、左クリックします。
フリーボックスの位置に、マニピュレータが表示されます。

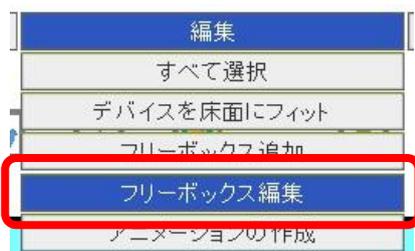


- (9) フリーボックスのある位置から、左ドラッグを行います。

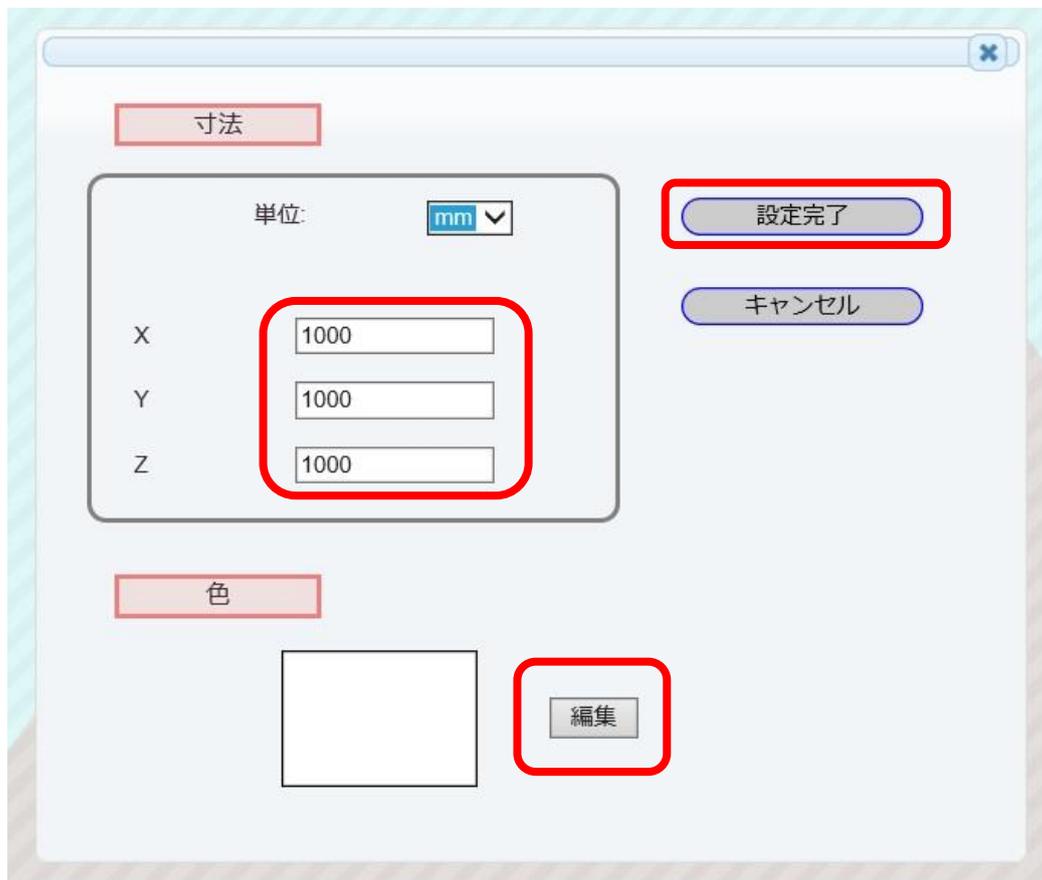
選択中のフリーボックスを自由に移動することができます。



(10) フリーボックスが選択された状態で、メインメニューの[編集]-[フリーボックス編集]を選びます。



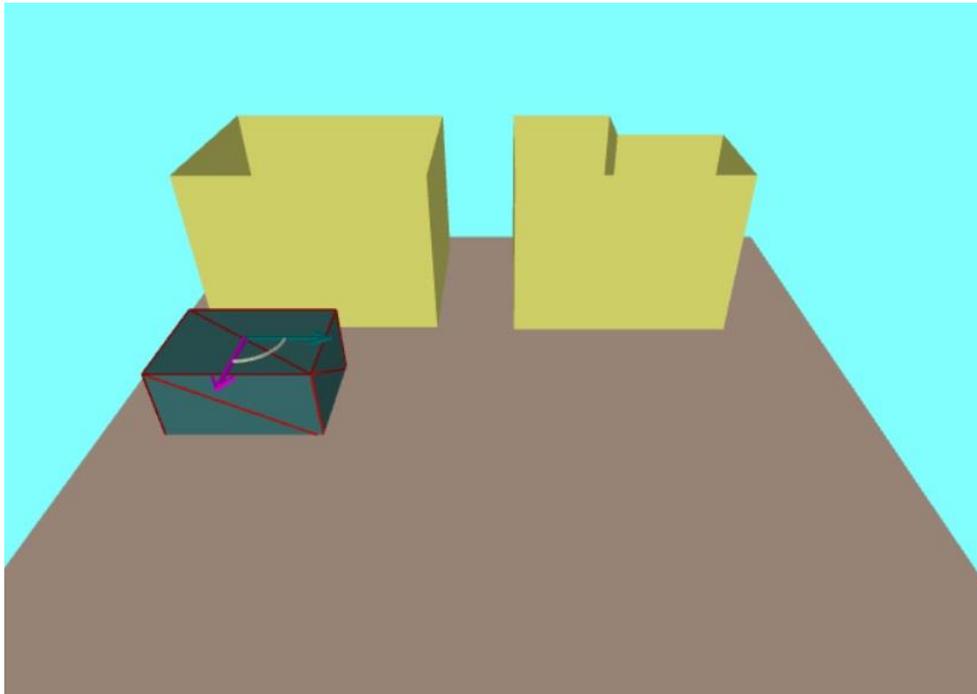
フリーボックス設定ダイアログボックスが表示されます。



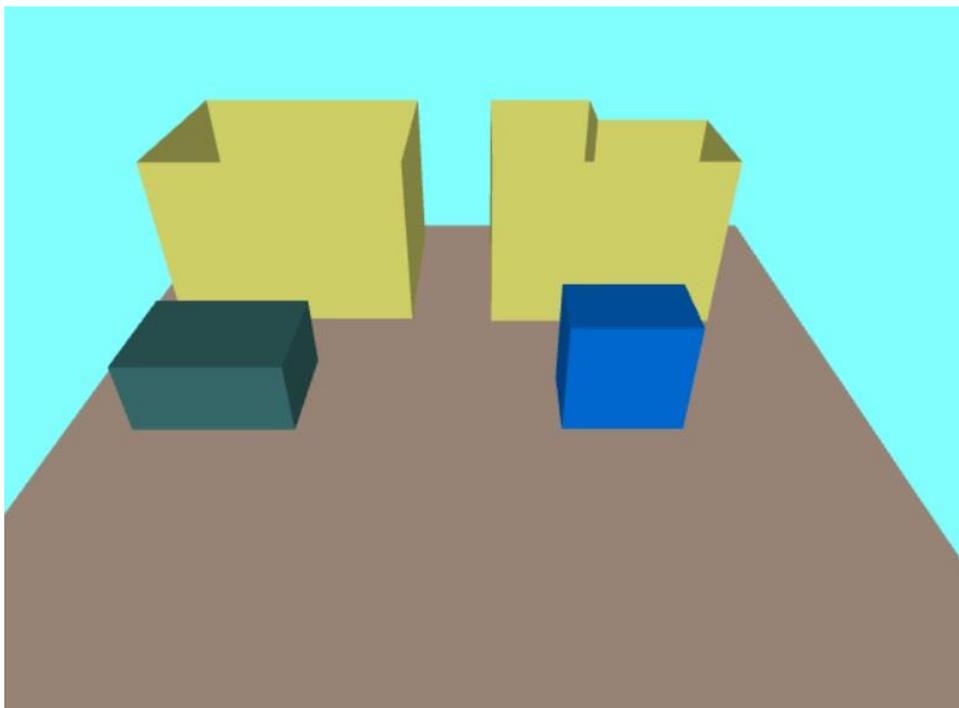
X、Y、Z三方向の寸法や、色を自由に指定できます。色の指定は、以下に示す色ダイアログを使用して行います。



設定が完了したら、<設定完了>ボタンを押します。設定内容に従い、フリーボックスの大きさや色が変わります。

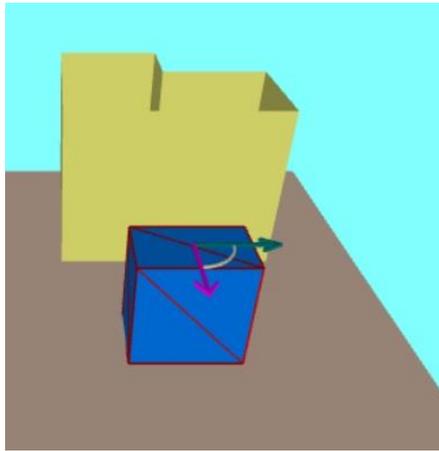


(11) 同様の手順で、もう一つのフリーボックスを追加します。



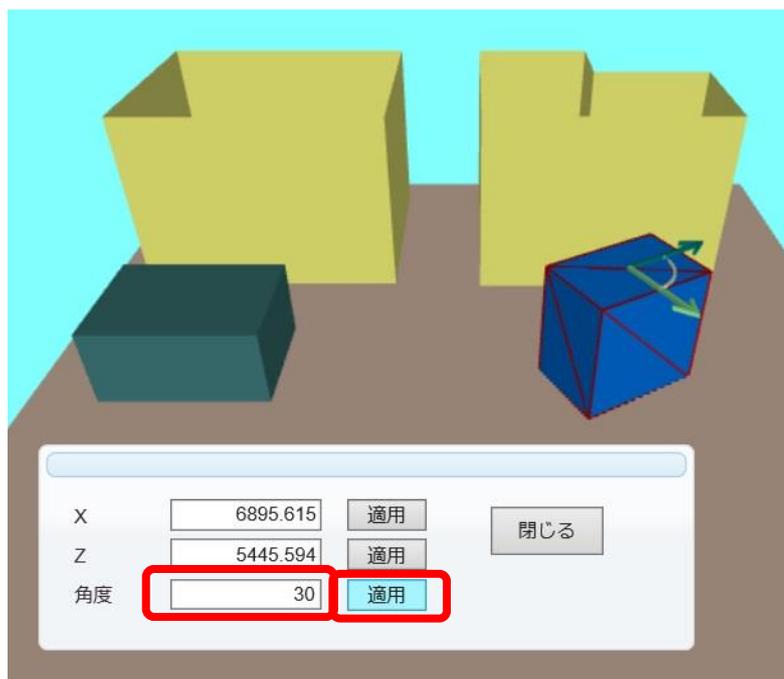
(12) フリーボックス上で左クリックします。

選択状態となり、全体が赤くハイライトするとともに、マニピュレータが表示されます。



(13) マニピュレータ矢印の上で左ダブルクリックします。
マニピュレータ操作ダイアログが表示されます。

(14) 角度に 30 度を指定し、<適用>ボタンを押します。
選択中のフリーボックスが 30 度回転します。



(15) 角度に-15度を指定し、<適用>ボタンを押します。
選択中のフリーボックスが-15度回転した状態に変化します。



以上のように、マニピュレータを使用すると、位置や角度に対して、正確な値を指定することができます。

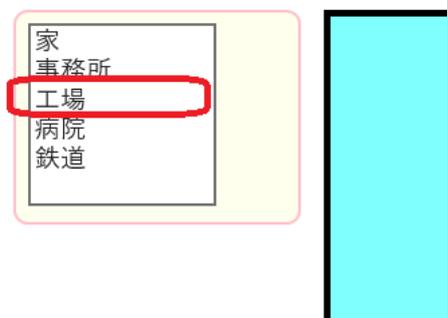
4.2 デバイスタブを使用した新規デバイスの追加

続いて、デバイスタブに存在するデバイスを追加する方法について説明します。

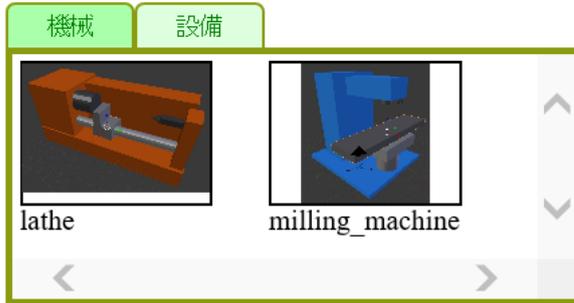
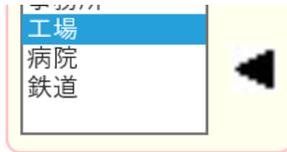
デバイスタブには、手持ちの 3D データを自由に追加することができます。また、タブページや、そこに表示される画像も自由にカスタマイズできます。

ここでは、追加済みのデバイスを新たにフロア上に追加する方法を見ていきます。

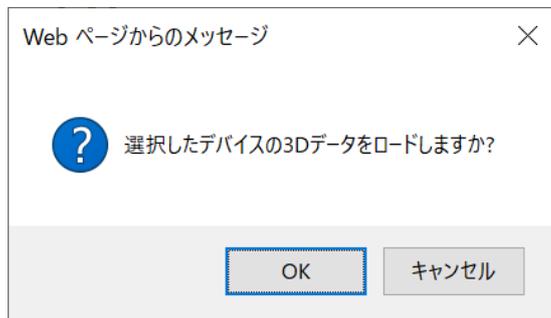
- (1) ページ左端にあるデバイスタブページ一覧より、<工場>を選択します。



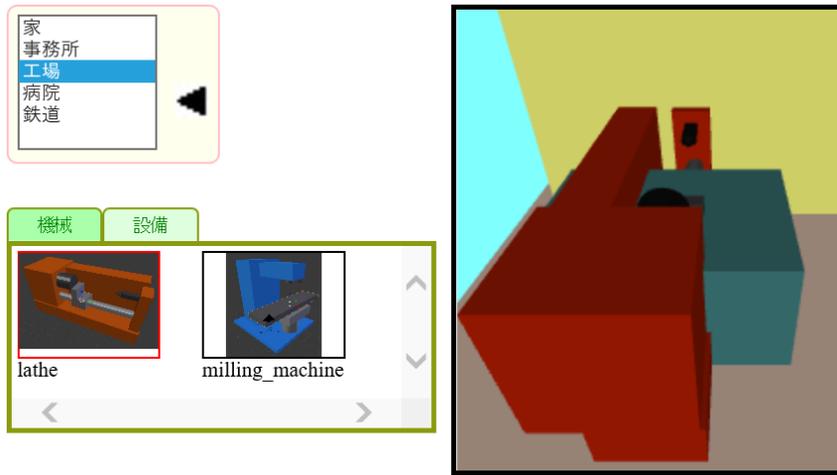
[機械]と[設備]の二つのタブが現れます。



- (2) スペースキーを1回押します。
作成モードに切り替わります。デバイスタブから新しいデバイスを追加する場合は、作成モードに切り替える必要があります。
- (3) 機械ページにあるいずれかの項目を選択します。
デバイスロードの確認ダイアログボックスが表示されます。



- (4) <OK>ボタンを押します。
選択中のデバイスデータのロードが開始します。
- (5) マウスポインタを3Dビュー上へ移動させます。
選択したデバイスがデバイスタブ上で赤くハイライトしたことが確認できます。
この状態で、マウスポインタを床面の位置へ移動させると、マウスポインタの位置に新しいデバイスが表示されます。



(6) 床面上の任意の位置で左クリックします。
選択中のデバイスが、フロア上に新規追加されます。

(7) 必要に応じて、追加したデバイスの位置や角度を変更します。

4.3 無料ユーザーでのファイル保存

無料ユーザーでは、部屋配置ファイルの保存はできますが、デバイス配置ファイルの保存はできません。

第5章 – お問い合わせ

5 お問い合わせ

本製品についてご質問がありましたら、以下までお問い合わせください。

Support@realinite.co.jp